

【ふるさとたより】 (写真提供は南海日日・奄美新聞他)

○第47回「徳州地域女性連大会」交流なる

2015年8月30日、徳州地域女性団体連絡協議会は、3町から約300人の会員や関係者の参加のもと、日頃の活動成果の発表や講演会を開いた。「子や孫に誇れる、心豊かな活力に満ちた故郷づくり」を大会宣言として採択し閉会した。第47回の活動に喝采!



○奄美・琉球世界自然遺産登録：再々遅延

2015年2月奄美群島世界自然遺産候補地保全・活用検討会議が4日に徳之島、5日は奄美大島で行われた。先行して候補地の国立公園指定が必要であるが、候補地の地権買取りなどで手間取り、世界遺産登録申請は遅延している。平成30年頃になりそうだ。



神域：「美名山の森」伊仙町

○自然からのリスク

2015年10月に奄美諸島を襲ったカミコガエ、松喰い虫、50年振りの豪雨、115年振りの積雪と、農業を基幹産業とする島にとっては、痛い自然リスクの記録づくめである。徳之島でもアサラ、グアバを早々に廃棄。奄美大島ではボンカ、カカン、グアバ等が防除のため深さ3mの穴に投棄された。移動規制は撲滅に成功後36年目の事である。



○NPO法人「徳之島夢振興会議」ヒカンザクラ植樹

夢振興会議は3年ぶりにフラワー事業を再開した。小中高校からの植樹希望を受けて入学や卒業記念樹として幼木の贈呈を行った。神之嶺小学校では入学記念植樹を4月11日に行った。在学中に大きく育み、卒業後も来校の楽しみを期待。



神之嶺小児童

○徳之島空港周辺緑地にウェルカム植樹

2015年5月15日、徳之島観光連盟は出身者らが「島への一步は南国情緒豊かな第一印象が必要」と集めた寄付金で空の玄関口を演出しようと、計50本を植樹。



寄付を集めた代表者：牧野三佐男氏(左)

日～H28年3月末迄

- H27.4.6 : 徳之島高校入学式 (祝電)
H27.4.8 : 関東徳高会役員会
H27.4.15 : 関東徳高会総会案内送付等作業
H27.4.25 : 関東徳高会役員会
H27.5.23 : 徳之島高校校長歓迎会 グルつぶめ
H27.5.24 : 関東徳高会総会・懇親会 きゅりあん
H27.6.6 : 関東徳高会総会・懇親会反省会
H27.6.21 : 関東伊仙町会総会
H27.7.19 : 関東徳之島町会総会
H27.9.27 : 関東天城町会総会
H27.11.3 : 関東徳州会総会
H27.11.28 : 関東徳高会役員会 (兼忘年会)
H28.2.21 : 徳之島フェア 代々木公園
H28.3.1 : 徳之島高校卒業式 (祝電)

【会計報告】

報告期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

Table with 4 columns: 収入(円), 支出(円), 前期繰越金, 総会・懇親費, etc.

上記の通り仮報告いたします。正式には会計監査を経て総会にてご報告いたします。平成28年3月31日

関東徳高会会長 遠藤 美枝子 印 省略

【あとがき】

関東徳高会会報は第6号が発行できました。新徳高の10周年祝賀を会員の皆様にお知らせできればと続けて参りました。振り返りますと財務のご協力を含め会員の崇高な母校愛が垣間見られ、継続ができたことと深謝申し上げます。関東徳高会は他地区に比べて運営が財務面を含め良好です。益々のご支援よろしくお願ひ致します。おわりに3町の町木、町花を紹介いたします(文責：喜多)

Table showing local trees and flowers from Tennoji, Isen, and Tokunoshima.



鹿児島県立 徳之島高等学校 関東同窓会 会報

関東徳高会 No.6

平成28年5月15日発行

敬愛 向学 共生

発行所：〒142-0062 品川区小山4-5-2 荏原不動産 TEL03-3781-0446 発行人：関東徳高会会長 遠藤美枝子

ご挨拶

関東徳高会会長 遠藤 美枝子



九州で大震災が起き、大きな被害が出ております。九州の皆様にご心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を祈念いたします。さて、本年は新設徳之島高等学校「創立10周年」になります。

関東徳高会は、全国一番乗りで同窓会も統合しました。会員の皆様の広大な心根の表れと感謝いたしております。

創立10周年を全会員の皆様で祝いましょう!

80代の大先輩と後輩の皆様が総会で新校歌を歌う姿はなんと素晴らしい事でしょうか。「霊峰北に仰ぎたる」と。林大先輩は、「新卒生のため」にと、10数年間に渡り軽井沢の別荘で大激励会をしております。喜多前会長は「皆様に笑顔を贈りたい」と会報の発行を一手に引き受けています。昨年は空手道部の先輩が、後輩の全国大会出場のために多大な応援を戴きました。

「ゆいの島 徳之島」の心を関東徳高会の皆様感じて、大変誇りに思い感動しました。

皆様!! さらにお互いの絆を深めあいながら前進してまいりましょう。皆様のご健勝を祈念いたします。

ごあいさつ

鹿児島県立徳之島高等学校長 白石秀逸



昨年四月の人事異動で鹿屋高等学校から参りました。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、数学科の教諭として平成7年から6年間本校で勤務し、今回を含め、通算8年目の勤務となりました。

かつて授業や学校行事、部活動で関わった生徒が、保護者として、地域の一員として支援してくれるという幸せ者でございます。

さて、今年には本校が徳高と徳農高の歴史と伝統を受け継ぐ高校として誕生し、11年目を迎えます。これまでの10年と両校の歴史に思いをはせながら未来を描く、節目の年に当たり、すべての学校行事に「創立10周年」という冠をつけて実施していきます。

昨年は、野球部のベスト8進出と全校生応援、空手道個人形でのインターハイベスト16進出、焼酎プロジェ

ト「島おこし」発売など、生徒たちは徳之島から元気を発信してくれました。そんな中、残念ながら今年の入学生が95名で、例年より1学級少ない編成となり、全校生徒も326名となりました。島の宝を預かっていることを肝に銘じ、「徳高が沈むと徳之島は沈む」という全職員の認識の下、各学年4学級の適正規模を維持できるよう、より魅力ある学校づくりに全力を注ぐ覚悟でございます。どうか、皆様方のこれまで以上の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、徳高会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、あいさついたします。

関東徳高会と私

関東徳高会第6代会長 寿 洋一郎 第13期生



会報誌の発行という大変な手間暇と忍耐の要することまで、会を持続発展させてきた関東徳高会を担って来た方々にまず「ご苦労様」と申し上げたい。

戦前から続く大高の安陵会と違い、戦後出来た徳高は同窓会の基礎作りから難事であった。これに骨折ったのが先輩では牧山二郎(敬称略、以下同)、麓高明であった。牧山は最初から会合にまめに出入り、陰に陽に支えて戴いた。麓は事務所を提供してくれた。後輩では喜多正吉、里達男などが職場の都会人に「好きだなあ」と茶化されながら頑張ってきた。

当時はミニ情報誌の存在も役立った。東京ではサンデー奄美、関西では南潮新聞、島では徳州新聞(小林正秀氏発行)などがあって、会の動きを随時伝えて励みともなった。

母校を取り巻く情勢も大きく変わった。関東徳高会発足当時、昭和46(1971)年12月6日の南日本新聞に「普通科増設を県議会に陳情...定員92人に221人が志望」とあり。時代が下って現在はどうか。普通科120人の募集に対して出願者は74人(倍率0.62)、総合学科40人の募集に対し出願者は25人(倍率0.62)となっている。(2016.2.24)

私も在京時代この徳高会運営を手伝ったが、その過程で社会党地方政治部長米倉文吉(2期)、上記の弁護士麓高明(3期)、医師徳田虎雄(6期)なれど高3時転校の各先輩と縁ができ、政治活動に入り島の町長選挙にも出ざるを得なくなった。以後山あり谷ありの行路を歩んで来ていて、私の半生は徳高抜きには存在しない。

東京で深くかかわってきた私が、30余年前に島に帰ってからは、当初はたまに出ていたが、最近は全く会に顔出ししない。これもおかしいが、それが実情。「ふるさととは遠き

にありて思うもの」と室生犀星が詠んだように、故郷は遠くにあるからこそ有難く思えるものであり、帰郷して触れる現実の故郷は、いい面もあり、がっかりさせられることもあり、「体は東京にあっても心は徳之島」という郷愁一途の都会暮らしとは趣をやや異にする。

【編集者メモ】

- ・寿 洋一郎元会長は 昭和 38 年卒 天城町前野出身
- ・早稲田大学卒一神奈川県庁職員一関東徳高会創設尽力
- ・昭和 61 年(1986)天城町長当選。3 期 12 年間務める
- ・徳之島トライアスロン創生者。現在行政書士

○平成 27 年 総会 校長参加のもと開催される

平成 27 年度の関東徳高会総会ならびに懇親会は 5 月 24 日(日曜日)12 時から、大井町駅前の品川区立総合区民会館「きゅりあん」において新任の白石校長ならびに新卒者を含めた会員 70 余名が参加してにぎやかに開催した。

同窓会本部(蔵越会)からは、福田利光会長(S34 年卒)が真摯なお人柄で、校長を伴い今年も元気に参加された。

郷友会関係からは古勝昭男徳州会会長はじめ各町郷友会会長など 7 名の来賓方々が参加して下さいました。

第 1 部は勝光重幹理事長が司会を務め、宮原たつ子副会長の開会の辞、続いて郷土遥拝がされた。今年は新卒 3 名の参加があり、白石校長、福田蔵越会会長と共に壇上で校歌の斉唱を行い同窓会の新しい仲間として誕生した。

遠藤美枝子会長は「母校の統合を機に、互いの同窓会も関東徳高会として一本化し早や 10 年を迎えます。深き絆で結ばれた心で本日はゆっくり語りてください」と挨拶した。

白石校長は、「徳高赴任は 2 度目であり縁の深い学校です。来年は 10 周年の記念の年になりますのでご支援よろしく」とあいさつされた。蔵越会本部の福田利光会長から、本部同窓会情報や母校の近況報告があった。

関東徳高会恒例の講演会は、松山哲則(徳之島郷土研究会)さんが「ふるさと再発見の楽しみ」と題して「明治 12 年大島郡竿次帳(平成 19 年発見)を基に氏がまとめた苗字についての論文の抜粋資料を配布して行われた。

その後、会長が議事進行をし、会務・会計・監査報告と承認を得て議事を終了。井口京子副会長が第 1 部を閉めた。



第 2 部は城戸あい子、利成彦さんの司会で進められた。第 8 代西原睦夫会長の開会・乾杯の音頭で開宴。ご来賓各位から挨拶を戴いた後、懇親会に移った。

懇親会は天城エイサー隊がにぎやかにオープン。小坂京子さんのマジック。小野幸子さんの舞。楽しいトークや新卒者 3 名の紹介、カラオケなど和やかに時は過ぎた。フィナーレは「花の徳之島」などを全員で踊り、松林清雄顧問の音頭でお互いの益々の健闘を称え、岡村隆文元会長が来年の再会を誓い散会した。



○総会運営に頑張りました!

司会の城戸さん・利さん。毎年事務局やステージ生花創作をする豊加代子さん。自称「窓ウォッチャー」の松山哲則さん。



○女性に好評の関東徳高会総会の料理



○ウエルカム・白石校長を囲む会 H27.5.23

2015 年 4 月より徳高に赴任の白石校長が 24 日の総会に参加するため、蔵越会本部の福田会長と上京されたので、役員有志は品川駅前の「グリルつばめ」で歓迎の交流会を開いて、10 周年祝賀に向けての情報や母校の教育事情などについて交流を図った。



【母校・蔵越会本部便り】

○平成 27 年度卒業式 第 8 期生

平成 28 年 3 月 1 日、第 8 回卒業式が行われた。

普通科 95 名、総合学科 35 名。総員 130 名が無事に卒業して新しい希望の人生へ巣立った。新制度で選挙権も保有し社会人として立派に育っていく様同窓会として見守りたいです。関東方面には 13 名の情報。



○平成 28 年度入学式 第 11 期生

平成 28 年 4 月 7 日、第 11 期生の入学式が行われた。子宝島の徳之島でも少子化傾向は顕著の様である。

募集人員に未達が近年続いて今年度は、普通科 1 学級減でスタートする入学式でした。

- ・普通入学者 72 名
- ・総合学科入学者 23 名
- *入学者合計 95 名

普通科 2 学級、総合科 1 学級

○徳高野球部県大会 4 強入りならず H27. 7. 22

第 97 回全国高校野球選手権大会鹿児島大会において徳高は奄美勢で唯一勝ち進み、船便で駆けつけた全校生徒の応援をバグに鹿児島市の県立鴨池球場で準々決勝に臨んだ。シード校の鹿児島城西と対戦。1-6 で敗れ 4 強入りはならず。



○総合学科頑張っています!

5 年がかりの「黒糖焼酎プロジェクト」。実習で採れた砂糖キビと県立伊佐農林高産の米とコラボ。にしかわ酒造で「島おこし」と銘して商品化し 2500 本を販売。島のキビ振興になればと心憎い。



○新設徳高 10 周年祝賀の予定

10 周年記念式典は 11 月 5 日(土)に予定されている。

【会員便り】

○松元達郎さん瑞宝単光章受章!

平成 26 年春の叙勲で郵政業務功労者として受賞の栄を賜った。普通科昭和 40 年卒。卒業と同時に東京中央郵便局に入局。日本橋局渋谷局に勤務後、平成 19 年退職。42 年の長きにわたる真摯な業務が評されたものと母間郷友会有志は祝賀した。

- ・埼玉県在住
- ・母間出身 (S. K)



○得岡誠二郎先生の米寿を祝う H27.10.15

天城町立北中学校第 15 回卒(S22 生)は、三年間ご指導いただいた恩師の米寿祝を与名間サンセットリゾートで行った。島在住の 21 人が出席。きかん坊主だった頃を懐かしく語り合い、ご夫妻の益々のご健勝を祈りました。(M. T)



○北中第 15 回卒同窓会開催 H27.10.21~22

三浦海岸「マホロバ」で賑やかに一泊の同窓会を行った。翌日は「赤い靴バス」で横浜観光。グリーズベホテルで昼食。15 時からガク大会と充実した二日間を過ごしてお互いを見つめ合い...まだ若い...確認し合いました。(M. E)



○同級生の急逝をしのぶ会：東天城中第 5 回卒

家政科昭和 41 年卒の伊藤ミネ子(旧姓:内山)さんが 2 冊目の句集を出版出来たと中学の同級生に届ける傍ら 7 月急逝。お礼の電話も出来なくてと偲ぶ会を開いた。(S. K)



○亀津中第 6 回卒(S22 年生)全国同窓会 H27.11.11

H27 年 11 月全国同窓会を亀津で開催。島内外から 88 名が参加した。島内観光や新築落成間もない母校を訪れ、次の「73 歳全国同窓会」まで元気であることを誓い合った。(K. H)



昭和 22 年生ヤマシ会 全国同窓会 in 徳之島 平成 27 年 11 月 11 日